

家庭・地域と学校の協力による、笑顔でチャレンジするかわちっ子の育成

キーワード

地域学校協働活動／コミュニティスクール／子ども会／外部人材活用

取組概要

学校と家庭・地域が連携し、持続可能な学習支援体制を構築する。豊かな自然や伝統文化等、地域の特色を生かした教育活動を推進する。

取り組みの詳細

川遊び体験



地域学校協働活動推進員のプロデュースにて、直海谷川上流の沢登り体験をした。児童への自然体験を指導している方を講師に、子ども会役員や P T A 会員が児童の安全を見守り、活動を支えた。

スキー授業



地域のスキー競技経験者をコーチとして招聘し、1～2月の金曜午後にスキー授業を7回実施した。1年生にはマンツーマンで指導した。毎年実施しているため、児童のスキー技能は学年が上がるごとに上達している。

伝統文化の継承



河内地区の伝統芸能「扇踊り」を全校で踊った。扇踊り保存会メンバーが講師となり、児童や P T A 会員が伝統を継承している。また、伝統工芸「こつら細工」を地域住民が児童と一緒に作ることで、郷土愛を育んでいる。

成果

- ・学校運営協議会（コミュニティスクール）との連携、コーディネーター活用が本格的に始動した。
- ・白山手取川ジオパークの特性を活かし、既存の学校の教育活動、P T A 活動の連携を強化することができた。

課題や今後の取り組み

- ・新規の人材を地域と連携して育成し、活用していく。

その他の取り組み紹介



児童や保護者、教職員、河内町民が一体となって運動場の草刈りをする。長年続く地域全体での愛校活動となっている。

所在地

石川県白山市

全校児童数

30名

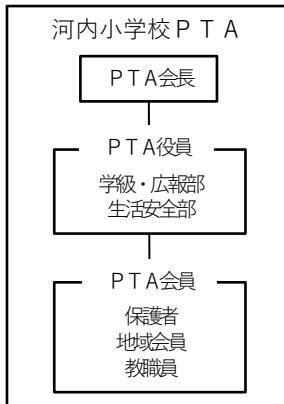
地域の特徴

白山市は、石川県の中央部に位置し、南の白山連峰から北の日本海までの県内でも最も広い市である。手取川の扇状地の恵みを活かした農業が盛んである。

学校の特徴

白山に源を発する手取川の支流直海谷川流域付近の14集落よりなる複式学級の学校。令和5年に新生河内小学校として10周年を迎えた。

組織構成



担当課：石川県教育委員会
生涯学習課

PTA活動のアップデート～広げよう山王の輪～

キーワード マイナスイメージの払拭／楽しい・元気・広める／サポートスタッフ

取組概要

「大変」「面倒」「さけたい」というPTA活動の負のイメージを払拭するため、日常的な活動にとどまらず、3つの山王フェスティバル（復興、サマー、エンジョイ）を通じてPTA活動のアップデートを試みた。

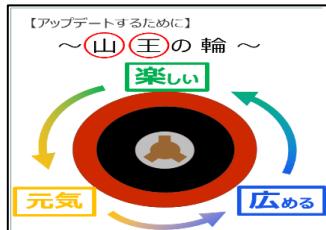
取り組みの詳細

PTA活動のアップデートを図るために三つの柱を設定し取り組む。

1つ目の柱は『楽しい』。楽しいことを集めて企画したイベント「サマー・フェスティバル」（8月）「エンジョイ・フェスティバル」（11月）を開催した。山王小版逃走中、学校お化け屋敷などで児童、保護者、地域の方々が楽しんだ。

2つ目の柱は『元気』。能登半島地震から、皆を元気にしたい！との思いから「山王復興フェスティバル」（5月）を開催した。地元企業の協力を頂き露店や著名人の元気が出る講演会を開催し、児童の笑顔や保護者同士の会話が広がり、少しずつ元気を取りもどすことができた。

3つ目の柱は『広める』。イベント開催時に会員の参画意識を広めるため、会員に当日だけ参加するサポートスタッフを募集し、運営に携わる体制づくりに取り組んだ。サポートスタッフの数が徐々に増えていき、これを機に継続的に参画するサポートスタッフの輪がどんどん広がっていった。



成果

- 会員、児童が「楽しい」と感じ「元気」ができる取組となった。
- サポートスタッフが徐々に増え、活動が「広がる」結果につながった。

課題や今後の取り組み

- 負のイメージを払拭するために、さらなる活動の工夫を行いたい。
- PTAのサポートスタッフの輪を会員だけでなく、地域のボランティアの方々にも広めていきたい。

その他の取り組み紹介

- 地域の関係団体と連携し、児童が下校時に、校区のパトロールを兼ねて、ごみ拾いを行い美化運動を行った。年11回実施。
- 「学年行事」「はあとふる教室」で、親子や会員間の親睦を深めた。
- インターネット活用したオンライン役員会やイベントの企画会議を開催した。

基礎情報

所在地

石川県七尾市

全校生徒数

343名

地域の特徴

七尾市は石川県の北部、能登半島の中央に位置しており、美しく豊かな自然に囲まれており、温泉など観光資源も豊富である。山王小学校のある地域は、国の重要無形民俗文化財に指定されている青柏祭が開催される大地主神社があり、お祭りや伝統的な行事が盛んである。

学校の特徴

七尾市の中心部に位置し、近くに七尾港や城山がある。昭和37年に創立。現在63年目を迎える。教育目標は「未来を見つめ自ら考え、判断し、行動する力の育成～児童の自律をサポート～」。地域学習が盛んにおこなわれ、地域に密着し、共生を目指している。

組織構成

役員会	会長 1名 副会長 若干名 書記 若干名 会計 若干名 監査員 若干名 相談役 若干名
-----	--

- はあとふる委員会
- 広報委員会
- 教育委員会
- 環境安全委員会
- 学年委員会（1年～6年）

担当課：石川県教育委員会
生涯学習課

『創造的復興』を目指して ～小さくともキラリと光る穴水高校～

キーワード

地域人材／パネルディスカッション／里山里海／PTA広報誌（はぐくみ）／穴高祭

取組概要

PTAが活動の主体となって、学校・保護者・地域が連携できる協力体制の構築に努める

取り組みの詳細

地域の諸先輩による意見交換会（パネルディスカッション）

様々な分野で活躍する同窓生より、能登半島地震で体験したことや考えたことをふまえ、自身の今後の地域の将来について高校生に向けたメッセージを聴き、質問や意見を交わした。



能登半島地震後の学校祭に向けて

校舎、体育館、グラウンドなど令和6年能登半島地震により大きな損壊が見られる中、例年PTA企画として実施していた調理販売が調理室の床が傾き危険であることと、加えて水が出ないという問題に直面した。

それでもPTAの皆で意見を出し合い、あえて穴水高校で実施することを選択し、これまでになかったキッチンカーを誘致する取組を行った。

また、PTAサプライズ企画として、子どもたちに「青春応援団 我武者羅」の皆さんから復興に向けての熱いエールをいただいた。



この日は一般公開されており、隣接する仮設住宅の方も含め多くの地域住民が足を運んだ。震災で多くの人が傷を負ったが、今までにない取組によって、生徒・保護者・教職員・地域が一体となった瞬間を創り上げることができた。

成果

- PTAが主体となっている活動
- PTA、同窓会、地域の連携
- 子どもの安心・安全に向けた教育活動

課題や今後の取り組み

まだまだ震災から復旧、復興したとは到底言えず、子どもたちと大人が共に穴水町の将来を真剣に考えながら、永続的な取組を展開していくこと。

その他の取り組み紹介

- 里山里海講演会
「震災とこれから
～ふるさとの価値・自分の価値を知ること～」
- PTA生活指導
「通学路安全点検」
- PTA広報誌
「はぐくみ」の発行



所在地

石川県鳳珠郡穴水町

全校生徒数

87名

地域の特徴

穴水町は日本海に突き出した能登半島の奥に位置し、日本海に面しており、美しい海岸線と穏やかな内海が広がります。町の周辺には豊かな里山が四季折々の美しさを楽しめます。牡蠣の養殖、能登ワイン、本校も栽培するシイタケ「のと115」など「まいもん（美味しい物）の里」がキャッチフレーズです。

学校の特徴

令和8年度に創立80周年を迎える穴水高校は自然豊かな環境の中で学問はもちろん、人間性を育み、地域との結びつきを大切にしてきました。「良識・勤勉・心身鍛錬」の校訓のもと、人としての生き方を学び、卒業後は様々な分野で活躍しています。

組織構成

石川県立穴水高等学校PTA

役員

- 会長 1名
副会長 4名（女性代表1名を含む）
書記 若干名
会計 2名
理事 若干名（各委員会委員長3名含む）
監事 2名

委員会

◎企画委員会 ◎生活指導委員会 ◎学習委員会

**担当課：石川県教育委員会
生涯学習課**